



離島・へき地に医療をつなぐ

GENEPRO

ここから、はじまる夢がある。

RURAL GENERALIST PROGRAM JAPAN

離島・へき地医療研修プログラム



「夢を動かす力になる。」

あなたの、医師としての夢は何ですか？

離島・へき地の医療に飛び込んでみたい。
海外の医療にチャレンジしてみたい。
医師としてもっと手技を身に付けたい。
地域医療の経験を積んで地元に戻りたい。

しかし、夢への第一歩をどう踏み出したらよいのか。
今の実力で大丈夫だろうか。現場に指導医はいるのか。
今後のキャリアはどうなっていくのだろう。

ゲネプロはそんなあなたの不安に寄り添い、
あなたの夢への道のりを一緒に歩み、サポートします。



「学びたい」を選べる環境で、充実した研修生活を。

国内離島・へき地研修



ON-SITE TRAINING

離島やへき地の病院に行ったら、指導医はいるのだろうか。オンとオフの境目がなく、ずっと働くことになるのだろうか。自分の強化したい科目が学べるのだろうか。不安はたくさんあると思います。でも安心してください。研修生の背景が様々なため、現場の指導医と話し合い、できるだけ研修目標に近づけるようなサポートをしてくれる病院を研修先として選んでいます。離島やへき地の医療に貢献することはもちろんですが、初期研修医の頃のように、様々な科を学ぶことが可能です。また、地域のことを良く知るためにはオフの時間も大事です。病院スタッフから、離島やへき地の醍醐味を教わることもあるでしょう。

外来や病棟業務だけじゃない。
在宅医療、手術室、様々な場所で働けるようになる。
「離島・へき地で求められる技術」がしっかり習得できます。

■週間スケジュール(例)

	午前	午後
月	皮膚科	救急
火	内視鏡	在宅
水	内科外来	小児科
木	産婦人科	産婦人科
金	内科外来	外科外来
土	休日	
日	休日	

■離島・へき地で求められる技術

内科手技	上部消化管内視鏡 超音波検査 (腹部・経胸壁心エコー・血管)	眼科	視力・眼圧測定 スリットランプ検査
外科手技	創洗浄・縫合 局所麻酔	皮膚科	ダーモスコピー検査 陥入爪の処置
産婦人科	子宮頸がん検診 妊娠の診断、胎児エコー	耳鼻咽喉科	鼻出血の止血処置 耳垢除去
麻酔科	気道確保 超音波ガイド下末梢神経ブロック	泌尿器科	排尿障害時のエコー 尿道カテーテル
整形外科	関節注射(穿刺) 骨折の処置・外固定(シーネ)	在宅緩和ケア	終末期の鎮静 胸腹水穿刺

苦手分野の強化、不安をクリア。
豊富なプログラムと安心のサポート体制。

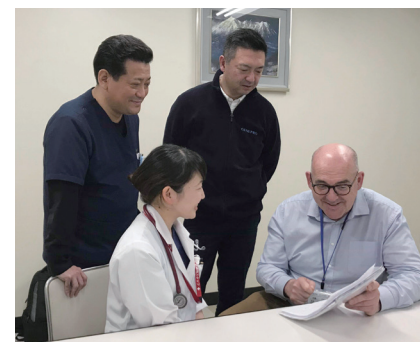
ゲネプロ教育サポート

指導医も多忙を極める離島やへき地では、十分な教育を受けることも難しい。RGPJでは、そのような旧来の問題を克服するために、オンライン研修やワークショップ、海外学会への参加サポート等、知識・手技ともに研鑽できる体制を敷いています。診療で困った時には、オンラインで症例相談することも可能です。

現地訪問

CLINICAL VISIT

ゲネプロの指導医またはスタッフが研修病院を直接訪問して、診察のフィードバックや目標設定の見直し、現場指導医との意見交換、研修生のメンタルサポートなどを行います。



ワークショップ

WORKSHOP

年2回、各2日間のワークショップを行います。研修病院では身につけることが難しい手技や、研修生からの希望を中心にゲネプロ・オリジナルのワークショップを企画しています。



オンライン研修

WEBINAR

オーストラリアのGPや日本人指導医から、総合診療の原則や離島・へき地で役立つ手技について学べるほか、ゲネプロ指導医との症例検討や英語力強化のレクチャーも用意しています。



日本を知る、世界を知る。グローバルな経験を強い糧に。

エレクトィブ・トレーニング〈国内/海外・選択研修〉



ELECTIVE TRAINING

1年間のプログラム修了後、希望者には最長3ヶ月間のエレクトィブ・トレーニング(選択研修)を用意しています。国内研修では、未経験の分野に挑んだり、内視鏡や整形外科などのスキルを更に強化することが可能です。また、世界のへき地医療をリードするオーストラリアのクイーンズランド州での研修のほか、世界各地の医療機関で研修することもできます。(※要相談)「海外のへき地医療現場」に入るとは、またとない貴重な体験となります。研修生活の集大成ともなるこの3ヶ月の経験は、医師として今後の大きな糧となるでしょう。



■国内研修

- ・内視鏡
- ・在宅医療
- ・外科
- ・麻酔科
- ・小児科
- ・産婦人科
- ・整形外科
- ・離島研修 など

■海外研修

- オーストラリア
へき地医療研修
(クイーンズランド州)
- ・へき地医療
 - ・日常診療
 - ・遠隔医療システム
 - ・フライングドクター

VOICE RGPJ 研修生の声

2期生修了 家庭医専門医(益田医師会病院)

「当初、内科系中心の後期研修であったため、外科系にも強くなりたいと思い、プログラムに応募しました。実際、皮膚科、整形外科、耳鼻科、泌尿器科、小児科研修など、多岐にわたり研修することができました。総合診療医として研鑽を積んだ方にはもちろんお勧めできますし、内科以外の専門科研修を受けられた方が、もう一度、幅広く勉強してみるのにも適したプログラムだと思います。」





合同会社ゲネプロ 代表 齋藤 学

プロフィール

2000年順天堂大学医学部卒業。千葉県旭中央病院で研修後、救急医として沖縄県浦添総合病院に勤務。ドクターヘリを通して、離島医療の魅力を知る。徳之島徳洲会病院を経て、内視鏡、在宅医療の研鑽を積んだ後、2017年4月より日本版離島・へき地研修プログラム(RGPJ)をスタートした。世界トップクラスのへき地医療を展開するオーストラリア・クイーンズランド州と提携を結び、プログラムの質の向上を図っている。

救急専門医、プライマリ・ケア連合学会指導医
ジェームス・コック大学非常勤講師
オーストラリアへき地医療学会名誉会員賞受賞(2018年)



プログラム設立の背景

「離島やへき地、発展途上国といった、医療資源の不足する環境で働いてみたい」
医学生時代、あるいは医師を志した頃に、このような夢を抱いたことがある方は多いのではないのでしょうか。しかしながら、実現にまで漕ぎ付けられる人は、なかなかいません。

私自身、多くの方々のおかげで、こうして「地域医療や国際保健にたずさわる」という夢の入り口にたどり着きましたが、一度は忙しさを理由に、夢を手放しかけたのは事実です。
「同じ夢を抱く医師と一緒に夢に挑戦したい」という想いからゲネプロを設立しましたが、ここに至る背景には、そういった過去の自分の苦い経験が強く影響しています。

ゲネプロの提供する研修プログラムは、「国内外を問わず、離島やへき地でもひとりで闘える医師を育てる」という理念を実現すべく、へき地医療トレーニングの最先端を行くオーストラリアの仕組みを参考にしています。へき地医療は特に海外での先行事例が多いため、国外の情報を積極的に収集し、それを日本に合った形にアレンジしながら、より良いプログラムの構築を目指しています。

1年という短い期間ではありますが、目標を細かく設定し、成功と失敗を繰り返す中で、充実した日々となり、一歩でも目標に近づいてほしい。そう願ってやみません。

このプログラムは、オーストラリアへき地医療学会(ACRRM)の認定を受けており、研修修了後には認定証が授与されます。また、プログラムのコンテンツは、へき地医療トレーニング提供機関としてオーストラリアでは有名なRVTSモデルを参考にしています。希望者は、RVTSのワークショップに参加することも可能です。

Australian College of
Rural & Remote Medicine
WORLD LEADERS IN RURAL PRACTICE



RVTS
REMOTE VOCATIONAL
TRAINING SCHEME LTD

詳しくはこちら▶

研修生募集中!

RGPJ

検索

【ゲネプロホームページ】 <https://genepro.org>

facebook <https://www.facebook.com/geneporural/>



GENEPRO

